

原子力規制委



東京湾を通過する米原子力空母ジョージ・ワシントン(米海軍ボームペーシから)

米艦の原子力事故対策消えた

安全委から引き継がず…

消えた

今年9月の原子力安全委員
会廃止と原子力規制委員会発
足に伴い、日本に寄港する米
軍の原子力艦船が事故を起こ
した際の対応(専門的助言、
技術的支援)が抜け落ちてい
ることが判明しました。組織
改編のどきで原子力事故
に対する政府の対応を後退さ
せた重大な動きですが、関係
自治体には知らされていませ
なでした。

■全面削除

れていた「原子力安全委員
会の活動」が全面的に削除
されました。(左の表)
政府の中央防災会議(会
長・野田佳彦首相)は9
月、原子力災害や大規模自
然災害への「対策強化」と
び専門家を現地派遣
して防災基本計画を修正
した。このなかで(9月19日)
原子力安全委員会が廃止
された(内閣府)ことから、
旧基本計画の「原子力艦の
原子力災害」の項目に含ま
れていた「原子力艦船が初

防災基本計画での原子力艦の原子力災害への対応

修正前の計画	修正後の計画
5 原子力安全委員会の活動 ○原子力安全委員会を開催し、専門家等を現地派遣する	(削除)
○委員、員及び専門家を現地派遣する	(削除)
○委員、員及び専門家を現地派遣する	(削除)
○委員、員及び専門家を現地派遣する	(削除)
○委員、員及び専門家を現地派遣する	(削除)

政府内で責任押し付け 自治体困惑

規制庁で議論される期間
ているとの認識です。
内閣府は本紙に対して「
安全委員会が担っていた
専門家の派遣や助言は、原
子力規制委員会が引き継
ぐ」と説明。ところが規制
委員の事務局である原子力規
制庁は「原子力艦による原
子力災害の対応は内閣府
だと明言しました。原子
力艦船の災害対策につい
て、政府内で責任を押し付
けられている実態が浮き彫
りになりました。」
されたこと自体知らなかつ
た(長崎県佐世保市)。「詳
細は承知していなかった」
(中津川町)として、専門家が派遣
あり、従来どおりの対応が
あるものとの認識でした。
「原子力艦は自治
体には精通した職員は自治
体には困る」と困惑
して、

日本や近海での主な米原子力艦船事故など

- 1968.5 佐世保寄港の原潜ソーロフアイツェから異常放射能が検出
- 74.1 日本政府が原潜寄港時のデータをねつ造していたことが判明
- 80.3 ホワイトビーチ寄港中の原子力巡洋艦ロングビーチから異常放射能検出
- 96.11 原潜カメハメハと原潜トピカが横須賀寄港中に通常の約3倍の放射能を検出
- 2004.7 佐世保に寄港した原潜ラホヤが火災
- 05.1 原潜サンフアンヌスコがグアム沖で座礁。死者1人、負傷者23人
- 06.9 原潜ホルルルが横須賀を出港した直後に海中から放射性物質検出
- 08.5 原子力空母ジョージ・ワシントンが日本に向かう途中で火災。負傷者38人
- 8 原潜ヒューストンが佐世保、ホワイトビーチなど寄港時の冷却水漏れ判明

繰り返し返される事故 対応の後退は重大

されて原子炉が制御不能に
陥る事態も指摘されていま
す。政府も、日本共産党の畑
野君校議員(当時)の追及に
対して米原子力艦船の方
が「この事故」はあつると
の認識を示していました。

(99年11月29日、参院文教

放射能事故に対する日本
賢、ホワイトビーチ(うる
して原子炉を緊急停止した
事故がありました。同様の
事故が東京湾内で起こる
ことが判明しています。
964年。以来、米軍は原
子力艦が初寄港したのは1
水漏れを起こしていたと
国民の懸念を踏みにじて
来市)で汚染された冷却
水の原潜を初寄港したの
は、08年9月、原子力
三浦半島には複数の活断層
の事故への住民の不安も高
まっています。それにもか
かわらず、組織改編のどき
に、非常用電源も破壊
は原子力空母が湾内で座礁
くなり、非常用電源も破壊
は重大です。

政府内で責任押し付け 自治体困惑

放射能事故に対する日本
賢、ホワイトビーチ(うる
して原子炉を緊急停止した
事故がありました。同様の
事故が東京湾内で起こる
ことが判明しています。
964年。以来、米軍は原
子力艦が初寄港したのは1
水漏れを起こしていたと
国民の懸念を踏みにじて
来市)で汚染された冷却
水の原潜を初寄港したの
は、08年9月、原子力
三浦半島には複数の活断層
の事故への住民の不安も高
まっています。それにもか
かわらず、組織改編のどき
に、非常用電源も破壊
は原子力空母が湾内で座礁
くなり、非常用電源も破壊
は重大です。